

仮線工事の状況について

仮線工事が順調に進み、一部鉄道施設の工事が開始されています。10月より、軌道、電気、信号等の鉄道施設の工事が本格化します。現在、下記の業者が工事に着手しています。

なお、すでにお知らせのとおり、今後の軌道・電気等の工事は、深夜にモーターカー等を使用し、レールを運搬するなど、夜間工事が多くなります。ご理解ご協力をお願いします。

<軌道工事>

業者名：矢作建設工業(株)

<電気・信号工事>

業者名：名鉄EIエンジニア(株)



矢作建設工業(株)提供

<9月15日(深夜)レール搬入作業>



名鉄の電気機関車が入線し、レールの搬入を行いました。レール置き場からはモーターカーでレールを運搬します。

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

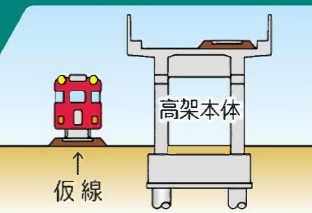
④ 仮線工事

令和3年7月着手

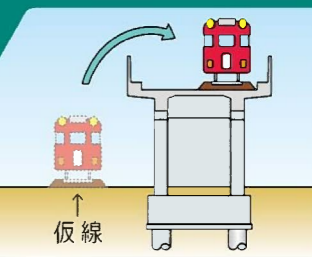
⑤ 仮線への切替



⑥ 高架本体工事開始

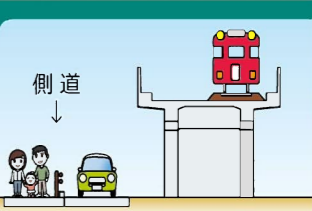


⑦ 高架本体への切替



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



令和9年3月(予定)

仮線切替に向けて

花園地区において、高架仮線の完成が近づいてきました。また、若林駅の仮ホーム及び電気室(交流館前)が整備されました。

なお、仮線切替後も現在の駅舎を引き続き使用し、改札の位置も変更はありません。改札から仮ホームまでの距離が遠くなりますのでご注意ください。



若林駅の様子 (R4. 9月上旬)



花園地区の様子 (R4. 9月上旬)

交通規制期間について

昨年の秋より交通規制にご協力いただいています「市道花園中根線」(花園町内の名鉄の側道・上写真参照)について、継続して車両通行止めを行います。解除時期は、令和5年2月末ごろを予定しています。なお、歩行者の通行は可能です。地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



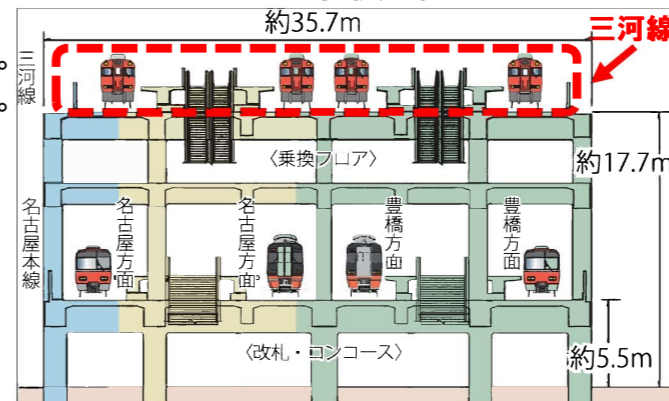
ちょっと途中下車

名古屋への直通運転が可能な構造に

近年、踏切の危険性が再認識され、各地で踏切除却に向けた取組みが積極的に行われています。おとなり知立市でも、愛知県が事業主体となって、知立駅付近連続立体交差事業が施行中です。将来の知立駅は、3層構造となり、名古屋本線が2階に、三河線は3階にホームが設置され、名古屋方で、2階の名古屋本線と3階の三河線が接続する構造となります。豊田方面から3階のホームに到着した三河線の車両が、そのまま名古屋方面に進み、坂を下りて名古屋本線に合流することが可能になります。

地域の皆様からは、「昔は名古屋への直通があったのに、」という声をよく耳にします。過去には直通運転があったようですが、豊田市としては、名鉄三河線から名鉄名古屋駅への直通運転を期待する限りです。

<知立駅横断面図>



出典：愛知県知立建設事務所HP

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651 (直通)
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp